

## ご門主法話（ご親教）

どのような状況にあっても、  
これからも阿弥陀さまのおはたらきを聞き、  
お念仏の中に日々を過ごしてまいりましょう

新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちの生活は大きな影響を受けました。先の見通しが立たない状況が続く中で、私たちは不安や悩み、苦しみを抱えています。

仏教の特徴の一つに「諸法無我」という教えがあります。あらゆるものに「我」という不変の実体はないという考え方です。もともと古代インドでは、この「我」の存在を重視してきました。それに対して仏教は、「我」や「靈魂」といった不変の存在を認めません。「諸行無常」というように、あらゆるものは一瞬もとどまることなく変化していると仏教では考えますから、そこに常住不変の実体などあるはずはありません。ですから理想的な見方をすれば、仏道修行をすることによって、自己を変革することができるといえます。

しかしながら、自分を変えることのない実体にとらえ、その自分の都合や利益などにとらわれ、ものごとをありのままに受け入れることのできない、自己中心的な「私」というものに悩まれたのが親鸞聖人でした。阿弥陀さまはこのような私たち凡夫のために、ご本願をたてられ、そのままの姿で救おうとはたらき続けてくださっています。どのような状況にあっても、これからも阿弥陀さまのおはたらきを聞き、お念仏の中に日々を過ごしてまいりましょう。

「2022(令和4)年2月1日(火曜日)本願寺新報『ご門主法話（ご親教）』より」